

一年間の成果を披露

～第43回市民文化祭いけばな展・菊花展～

11月1日(木)～3日(土)、登別市青少年会館で『菊花展』(登別菊花友好会主催)が、11月3日(土)・4日(日)、市民会館で『いけばな展』(登別華道連盟主催)が第43回市民文化祭の一環として行われました。

今年で55回目となる菊花展は、『厚物厚走』『大摺』『管物』『だるま』『福助』などさまざまな種類の菊がそれぞれの部門に分かれて約300鉢を展示。いずれも1年間丹精を込めた素晴らしい作品ばかりで、訪れた方たちはその出来栄えに感心していました。

いけばな展は市内4流派7団体からなる登別華道連盟の作品約50点を展示。登別市功労者表彰式に合わせて開催され、式典に彩りを添えていました。同連盟は創設42年間、市民文化祭に参加、市役所ロビーにボランティアで作品を展示しています。同連盟では、「多くの方に花を楽しんでいただきたい」と話していました。



▲菊花展



▲いけばな展

救急車が来るまでに

～赤十字幼児安全法短期講習会～



10月27日(土)、しんた21で『赤十字幼児安全法短期講習会』が開催され、13の方が参加しました。

この講習会は、家庭での安全な育児を行うために開催されたもので、講習会では、子どもに起こりやすい事故や病気の予防と適切な対処法などを学びました。

講師を務めた日本赤十字社救急法指導員が、「子どもの病気の中で一番注意が必要なのは脱水症です。1歳未満の乳児は体の約80%が水分できていて、体の水分が不足すると意識がなくなることもあります」と話していました。

その後、参加者が人形を使いながら実際に対処法の人口呼吸や心臓マッサージなどを行い、「実際の事態では救急車が来るまで休まずに続けましょう」と説明を受けていました。

この学校で学びたい！『英語に興味』

～登別明日中等教育学校
オープンスクール～

10月27日(土)、今年4月に開校した登別明日中等教育学校で、2回目のオープンスクールが行われました。

10時から小学6年生を対象に前期課程、14時から中学3年生を対象に後期課程の説明が行われ、全道各地から児童や生徒と保護者を合わせて約400人が参加しました。

前期課程のオープンスクールでは、最初にオリエンテーションが行われ、その後実習。社会の学習では『顔を科学する』をテーマに日本人のルーツを探ったり、理科では割れづらいシャボン玉を作ったり、英語ではアメリカ人の先生の簡単な英語の質問に答えるなどして実際の学習を体験したほか、制服などの試着や学校内を見学していました。

若草町から訪れた親子は、「子どもが英語に興味があり、子どもの希望で参加しました」と話していました。

